

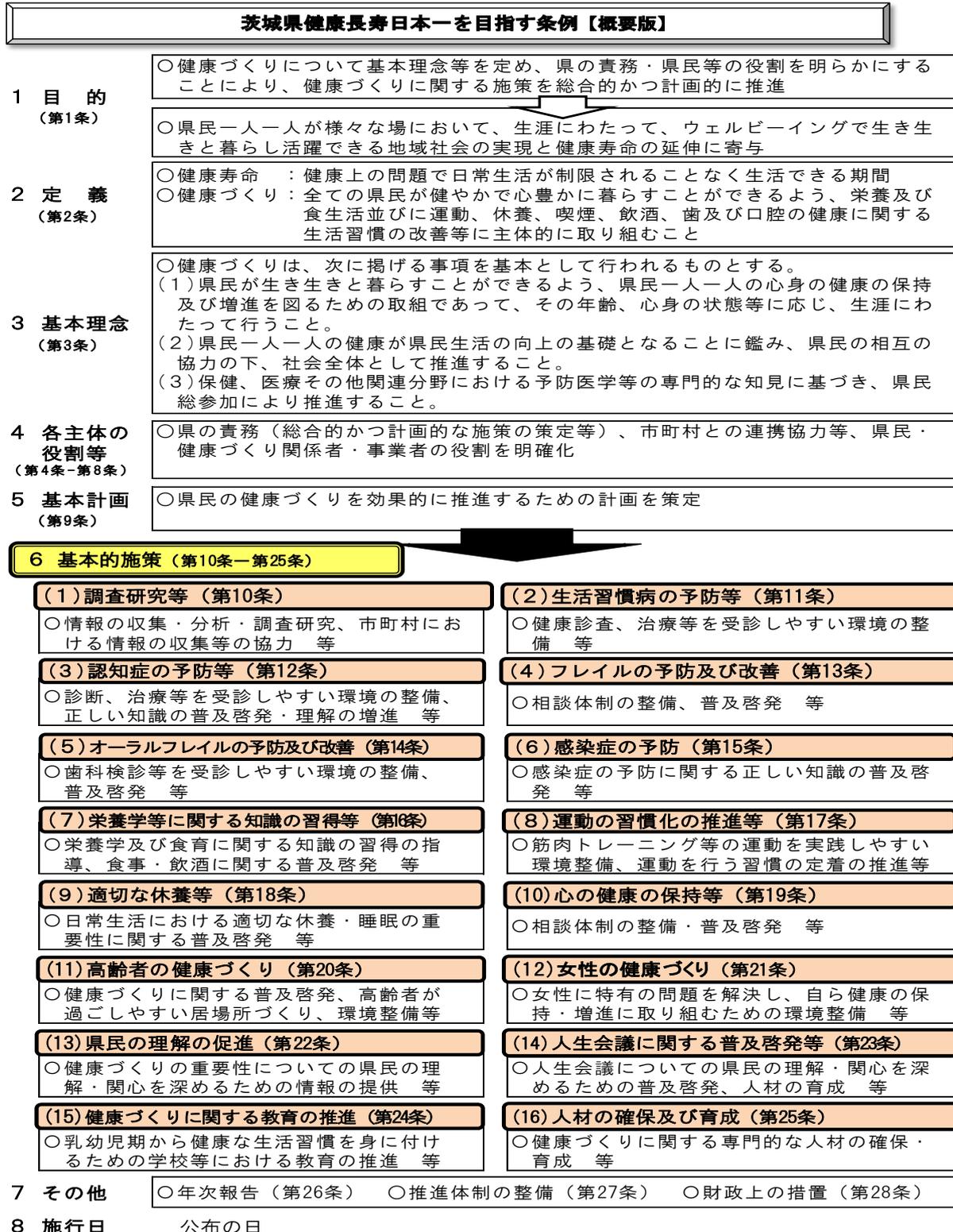
議員提案政策条例の規定による施策等の実施状況及び成果に関する報告書

1 条例の基本事項

条例の名称	茨城県健康長寿日本一を目指す条例		
担当課（室）	健康推進課	公布日	令和6年6月25日
報告の根拠	第26条(年次報告)		

2 条例の概要・施策体系図・推進体制等

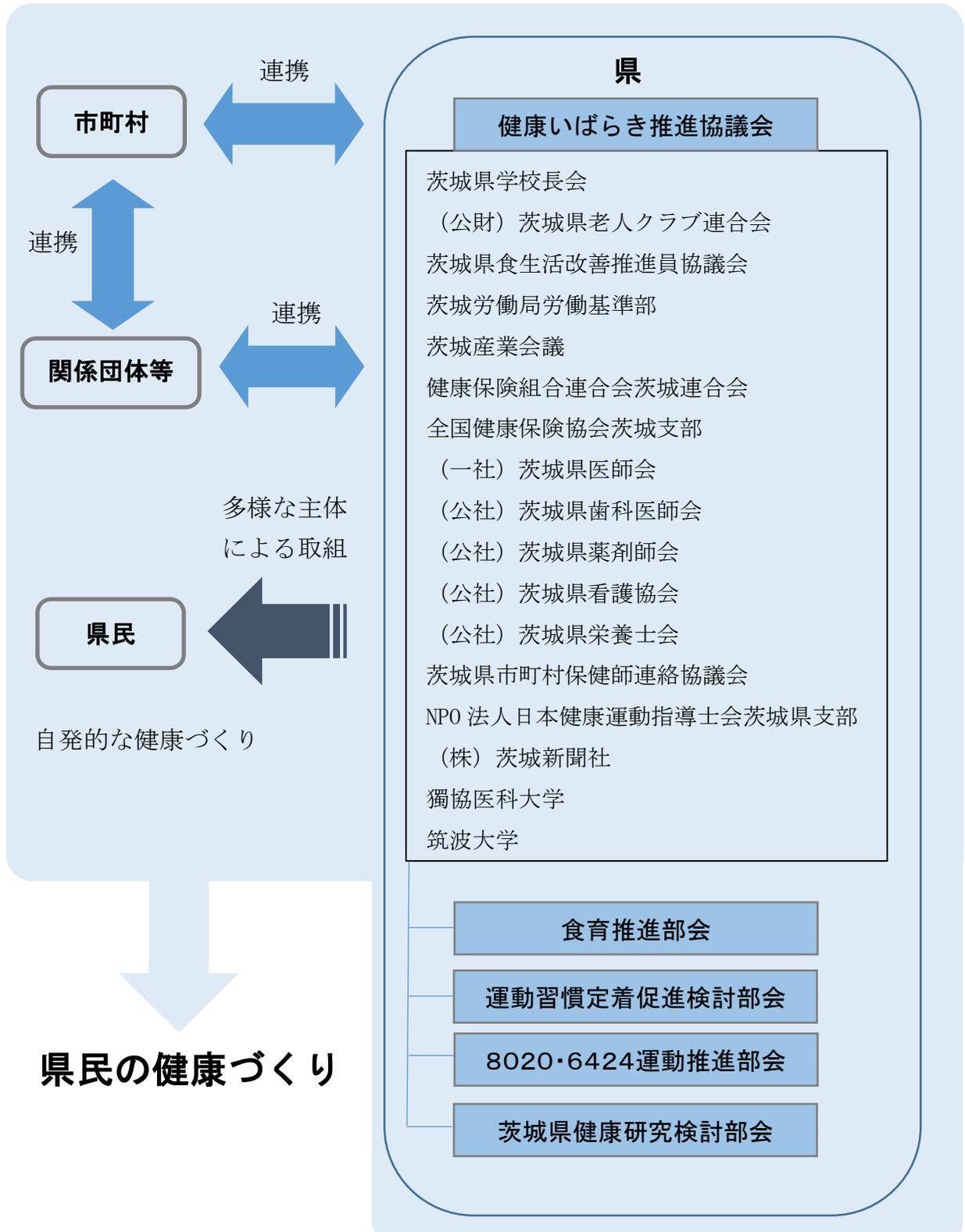
(1) 条例の概要・施策体系図



(2) 推進体制

(推進体制の整備)

第 27 条 県は、この条例に基づく健康づくりに関する施策を継続的かつ効果的に推進するため、当該施策に係る体制を整備するよう努めるものとする。



(3) 条例制定後の主な取組

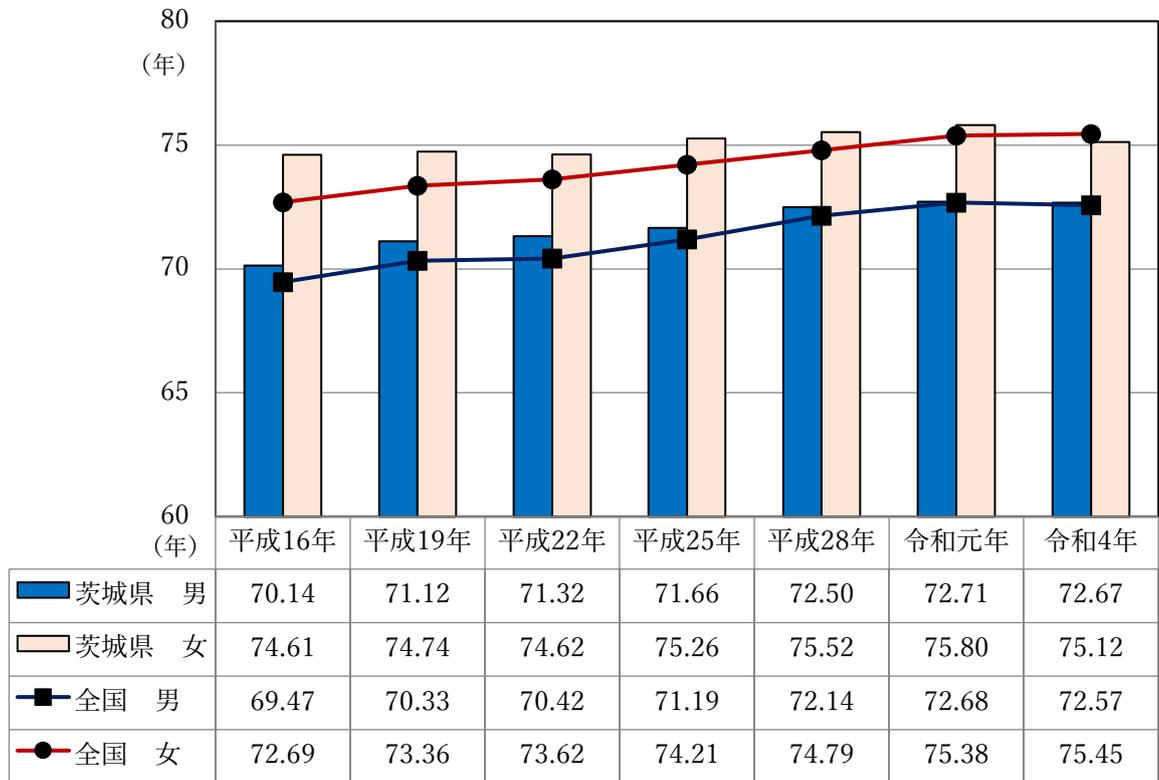
1 基本計画、施策等の策定状況

第4次健康いばらき21プラン（令和6年度～令和17年度）

2 条例制定時に課題とされた事項に係る調査結果等

本県の健康寿命（令和4年）

男性72.67年（全国19位）、女性75.12年（全国36位）



出典：「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」（厚生労働科学研究費補助金）

3 その他

○「健康長寿チェック表」の作成（令和7年3月末）

- ・ 県民の健康づくりを推進するため、県民に実践していただきたい生活習慣等について具体的に記載した「健康長寿チェック表」を作成

（作成物）①チラシ・・・A4カラー・両面／部数：30,000部

②ポスター・・・A3カラー・片面／部数：2,000部

（配布等）・ 県出先機関、市町村、学校、老人ホーム、関係団体、商業施設等へ配布

・ 県ホームページへ掲載

・ 県広報誌「ひばり（5月号）」へ掲載

3 条例の規定による事業等の実施状況及び成果並びに今後の取組

本県では、「茨城県健康長寿日本一を目指す条例」や「第4次健康いばらき21プラン」に基づき、生涯にわたって、ウェルビーイングで生き生きと暮らし活躍できる地域社会の実現及び健康寿命の延伸を目指し、下記の各種取組について、関係機関と連携を図りながら総合的に実施しているところ。

(1) 調査研究等（第10条関係）

事業名	事業主体	事業の内容	前年度 最終予算額 [千円]
			今年度 当初予算額 [千円]
【前年度の実施状況及び成果】 国民健康・栄養調査	県	<p><実施状況> 健康増進法に基づき、国からの委託を受け、国が指定する県内10地区483世帯を対象に、各地区所管保健所が調査（栄養摂取状況・身体状況・歩数計、血液検査）を実施。 ※水戸市は水戸市保健所が調査を実施</p> <p><成果> 調査結果については、翌年度に国が公表。公表された結果について、県において健康いばらき21プラン等の実績把握等に活用する。 (保健医療部 健康推進課)</p>	4,514
【今後の取組】 国民健康・栄養調査	県	国からの委託を受け、調査を実施する。	4,334
【前年度の実施状況及び成果】 歯科疾患実態調査	県	<p><実施状況> 令和6年歯科疾患実態調査実施要領に基づき、国からの委託を受け、国が指定する県内10地区483世帯を対象に、各地区所管保健所が調査（調査票回答、口腔内診査）を実施。 ※水戸市は水戸市保健所が調査を実施。</p> <p><成果> 調査結果については、翌年度に国が公表。公表された結果について、県において健康いばらき21プラン等の実績把握等に活用する。 (保健医療部 健康推進課)</p>	716
【今後の取組】 歯科疾患実態調査	県	国からの委託を受け、調査を実施する（次回は、令和10年度に調査実施予定）。	—
【前年度の実施状況及び成果】 健康いばらき21推進事業 (大規模コホート研究)	県	<p><実施状況> ○筑波大学と連携し、健診データや人口動態統計（死亡）等を収集し統計解析等を行うことにより、市町村が比較可能な統計データを作成するほか、ある地域の特定住民集団を長期間追跡し、病気の発症に影響を与える危険因子等を調査する研究を実施。</p>	12,481

		<ul style="list-style-type: none"> ・健診受診者生命予後追跡調査事業 ・健康づくり、介護予防及び医療費適正化のための大規模コホート研究事業 ・高血圧・糖尿病・心房細動等の発症とその背景要因に関する研究 ・小児期からの生活習慣病に関する研究 <p>○健康研究検討部会の開催（1回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究の進捗状況や調査結果の活用について部会で協議 <p><成果></p> <p>下記報告書のデータについて、県や市町村等における健康増進計画等の策定・評価のほか、健康づくりや生活習慣病予防の施策立案等への活用が図られた。</p> <p>○報告書の発行、市町村等への提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年市町村別健康指標（主な指標：死因別の死亡数及び標準化死亡比） ・健康づくり、介護予防及び医療費適正化のための大規模コホート研究事業報告書（主な指標：医療費に占める要因寄与割合） <p style="text-align: right;">（保健医療部 健康推進課）</p>	
【今後の取組】 健康いばらき 21 推進事業 （大規模コホート研究）	県	引き続き、市町村が比較可能な統計データ、研究成果の提供を通じて、市町村における地域の特性や健康課題の把握、健康づくりや生活習慣病予防対策の推進を支援する。	13,235

（2）生活習慣病の予防等（第11条関係）

事業名	事業主体	事業の内容	前年度 最終予算額 [千円]																
			今年度 当初予算額 [千円]																
【前年度の実施状況及び成果】 健康増進事業	県	<p><実施状況></p> <p>健康増進法に基づき、市町村が行う保健事業に対して補助を実施。</p> <p>補助率：県 2/3（うち国はその 1/2）</p> <p>※肝炎ウイルス検診の個人負担分は国 10/10</p> <p>○事業実績 (人)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>①健康教育</td> <td style="text-align: right;">55,898 (2,089回)</td> </tr> <tr> <td>②健康相談</td> <td style="text-align: right;">37,314 (3,252回)</td> </tr> <tr> <td>③健康診査</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 歯周疾患検診</td> <td style="text-align: right;">6,674</td> </tr> <tr> <td> 骨粗鬆症検診</td> <td style="text-align: right;">9,577</td> </tr> <tr> <td> 肝炎ウイルス検診(無料)</td> <td style="text-align: right;">6,513</td> </tr> <tr> <td> 肝炎ウイルス検診(上記以外)</td> <td style="text-align: right;">7,130</td> </tr> <tr> <td>④訪問指導</td> <td style="text-align: right;">延べ 1,609</td> </tr> </table>	①健康教育	55,898 (2,089回)	②健康相談	37,314 (3,252回)	③健康診査		歯周疾患検診	6,674	骨粗鬆症検診	9,577	肝炎ウイルス検診(無料)	6,513	肝炎ウイルス検診(上記以外)	7,130	④訪問指導	延べ 1,609	114,768
①健康教育	55,898 (2,089回)																		
②健康相談	37,314 (3,252回)																		
③健康診査																			
歯周疾患検診	6,674																		
骨粗鬆症検診	9,577																		
肝炎ウイルス検診(無料)	6,513																		
肝炎ウイルス検診(上記以外)	7,130																		
④訪問指導	延べ 1,609																		

		<table border="1"> <tr> <td>⑤総合的な保健推進事業</td> <td>22 市町村</td> </tr> </table> <p><成果> 生活習慣病対策として、健康増進法に基づき市町村が実施する保健事業に対して補助することにより、壮年期からの健康づくりと脳卒中、糖尿病等の生活習慣病の予防、早期発見、早期治療を図り、県民一人一人の健康増進に資することができた。 (保健医療部 健康推進課)</p>	⑤総合的な保健推進事業	22 市町村									
⑤総合的な保健推進事業	22 市町村												
【今後の取組】 健康増進事業	県	引き続き、市町村が実施する保健事業に対して補助することにより、県民一人一人の健康づくりを推進する。	117,002										
【前年度の実施状況及び成果】 健康いばらき21推進事業 (生活習慣病予防対策推進事業)	県	<p><実施状況></p> <p>○茨城県医師会及び郡市医師会に補助し、県、市町村及び健康づくり関係団体の連携により、県民を対象とした研修会や健康教室などを開催し、生活習慣の改善等に関する普及啓発を推進。</p> <p>・茨城県医師会及び郡市医師会が実施する普及啓発事業等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康教室、公開講座等の実施</td> <td>83 回</td> </tr> <tr> <td>地域医療従事者研修</td> <td>10 回</td> </tr> <tr> <td>講師派遣</td> <td>20 回</td> </tr> <tr> <td>啓発ポスター等の作成・配付</td> <td>配布先：1,408 機関</td> </tr> </tbody> </table> <p><成果> 医師会、市町村及び関係機関と連携し、上記取組を行うことで、県民への生活習慣病の発症予防及び重症化予防に関する普及啓発を推進することができた。 (保健医療部 健康推進課)</p>	項目	実績	健康教室、公開講座等の実施	83 回	地域医療従事者研修	10 回	講師派遣	20 回	啓発ポスター等の作成・配付	配布先：1,408 機関	5,885
項目	実績												
健康教室、公開講座等の実施	83 回												
地域医療従事者研修	10 回												
講師派遣	20 回												
啓発ポスター等の作成・配付	配布先：1,408 機関												
【今後の取組】 健康いばらき21推進事業 (生活習慣病予防対策推進事業)	県	引き続き、関係機関と連携し、生活習慣病予防の普及啓発を推進していく。	5,885										
【前年度の実施状況及び成果】 健康いばらき21推進事業 (総合普及啓発)	県	<p><実施状況></p> <p>○3 共済組合（地方共済組合、公立学校共済組合、警察共済組合）と特定健診の受診率向上等に向けた検討会を開催。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・特定健診受診率向上について ・被扶養者が受診するための取組</td> <td>3 回</td> </tr> </tbody> </table> <p>○特定健診受診勧奨の動画を作成し、各医療保険者に動画の活用及び周知を依頼。</p> <p><成果> 共済組合との協議の場を設け、被保険者に加え被扶養者の特定健診受診率向上の取組推進を図ることができた。 (保健医療部 健康推進課)</p>	内容	回数	・特定健診受診率向上について ・被扶養者が受診するための取組	3 回	1,425 の一部						
内容	回数												
・特定健診受診率向上について ・被扶養者が受診するための取組	3 回												

<p>【今後の取組】 健康いばらき 21 推進事業 (総合普及啓 発)</p>	<p>県</p>	<p>引き続き、各医療保険者と連携し、好事例の共有や各医療保険者の取組上の課題への助言を行うなど、各医療保険者の課題への対応・取組を支援する。</p>	<p>2,417 の一部</p>									
<p>【前年度の実施 状況及び成果】 健康いばらき 21 推進事業 (糖尿病重症化 予防対策等事 業)</p>	<p>県</p>	<p><実施状況> ○糖尿病に対する正しい知識の普及啓発 ・循環器疾患予防月間を中心に、糖尿病の発症及び重症化を予防する生活習慣等に関する正しい知識の普及啓発を実施。 ・症状の進行抑制に向け、糖尿病やその合併症に関する正しい知識について、関係団体の広報媒体を活用し啓発を実施。 ○関係者と連携した重症化予防対策の推進 ・糖尿病の重症化腎不全、人工透析への移行を防止するため、茨城県糖尿病性腎症重症化予防プログラムを活用し、糖尿病が重症化するリスクの高い、医療機関への未受診者・治療中断者への受診勧奨や通院患者への保健指導など、各医療保険者とかかりつけ医を中心とした医療の連携体制づくりの取組が実施されるよう支援。</p> <p><成果> ・糖尿病の発症及び重症化を予防する生活習慣について啓発することができた。 ・保健所単位で市町村担当者会議等を開催し、好事例の共有や意見交換を行うなどにより、地域の関係者と連携した糖尿病性腎症重症化予防の取組の推進に向けた支援を行うことができた。 (保健医療部 健康推進課)</p>	<p>1,127</p>									
<p>【今後の取組】 健康いばらき 21 推進事業 (糖尿病重症化 予防対策等事 業)</p>	<p>県</p>	<p>引き続き、糖尿病の発症や重症化予防に向けた普及啓発を行うとともに、医療保険者と医療機関等の連携のもと重症化予防の取組が円滑に実施されるよう支援を行っていく。</p>	<p>1,406</p>									
<p>【前年度の実施 状況及び成果】 健康いばらき 21 推進事業 (受動喫煙防止 対策推進)、 8020・6424 推進 事業(歯科医院 禁煙支援)</p>	<p>県</p>	<p>①受動喫煙防止対策促進事業 <実施状況> ○たばこの健康被害防止のため、各保健所において、施設の戸別訪問等を行うとともに、受動喫煙防止に関する助言・指導を実施。 ○中央及び土浦保健所に専任の指導職員を1名ずつ配置し、相談対応を強化。 ・戸別訪問等状況(9保健所合計) (件)</p> <table border="1" data-bbox="560 1832 1177 1957"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>訪問</th> <th>助言・指導</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施計画によるもの</td> <td>225</td> <td>173</td> </tr> <tr> <td>通報によるもの</td> <td>43</td> <td>49</td> </tr> </tbody> </table> <p><成果> 保健所による施設等への指導・助言を行うことにより、受動喫煙防止対策を推進することができた。</p>	内容	訪問	助言・指導	実施計画によるもの	225	173	通報によるもの	43	49	<p>①～② 8,738 ③ 168</p>
内容	訪問	助言・指導										
実施計画によるもの	225	173										
通報によるもの	43	49										

		<p>②禁煙支援・相談事業 <実施状況> ○喫煙をやめたい人がやめられることを支援するため、薬局において禁煙支援・相談を実施するとともに、禁煙指導を行う薬剤師を対象に研修会を開催。 ○県内イベントで禁煙支援・相談窓口等の周知活動を実施。 ・禁煙支援研修会の実施：1回、397人 ・県民への禁煙窓口等に関する周知活動：28回</p> <p><成果> 効果的な禁煙支援・相談が実施されるよう薬剤師を対象とした禁煙支援に係る研修会を開催し、資質向上を図るとともに、身近な相談窓口である薬局において喫煙をやめたい人に対する禁煙に向けた働きかけを行うことができた。</p> <p>③歯科医院禁煙支援事業 <実施状況> ○歯科医院における禁煙支援の推進を図ることを目的に、歯科医師、歯科衛生士等を対象とした禁煙支援に係る研修会を開催。 ・禁煙支援研修会</p> <table border="1" data-bbox="571 994 986 1077"> <tr> <th>回数</th> <th>参加者数</th> </tr> <tr> <td>1回</td> <td>70人</td> </tr> </table> <p>○禁煙支援相談を行う歯科診療所数を認証するとともに、禁煙支援の相談対応を行うなど、県民に喫煙と歯科疾患との関連について広く周知。 ・禁煙支援相談を行う歯科診療所数</p> <table border="1" data-bbox="571 1236 1177 1319"> <tr> <th>禁煙支援・相談歯科医院総数</th> <th>うち新規数</th> </tr> <tr> <td>382施設</td> <td>5施設</td> </tr> </table> <p><成果> 歯科医師、歯科衛生士等を対象とした禁煙支援に係る研修会の開催や、禁煙支援相談を行う歯科診療所数を認証したことで、歯科医院における禁煙支援の推進を図り、歯科保健関係者を通じて県民の禁煙への意識向上を図ることができた。</p> <p style="text-align: right;">(保健医療部 健康推進課)</p>	回数	参加者数	1回	70人	禁煙支援・相談歯科医院総数	うち新規数	382施設	5施設	
回数	参加者数										
1回	70人										
禁煙支援・相談歯科医院総数	うち新規数										
382施設	5施設										
<p>【今後の取組】 健康いばらき 21 推進事業 (受動喫煙防止対策推進)、 8020・6424 推進事業 (歯科医院禁煙支援)</p>	<p>県</p>	<p>①受動喫煙防止対策促進事業 引き続き、保健所による施設等への指導・助言を行い、受動喫煙防止対策を推進する。</p> <p>②禁煙支援・相談事業 引き続き、効果的な禁煙支援・相談が実施されるよう、薬局において喫煙をやめたい人に対する禁煙に向けた働きかけを行い、県民の禁煙への意識向上を図る。</p> <p>③歯科医院禁煙支援事業 引き続き、歯科医院における禁煙支援の推進を図り、歯科保健関係者を通じて県民の禁煙への意識向上を図る。</p>	<p>①～② 9,722 ③ 168</p>								

<p>【前年度の実施状況及び成果】 特定健康診査・特定保健指導の実施率向上に向けた普及啓発</p>	<p>県</p>	<p><実施状況> 地域における特定健康診査・特定保健指導者の育成及び資質向上を図るための研修会を開催。 ○指導者（保健師、管理栄養士、医師等）向けの研修会を開催。</p> <table border="1" data-bbox="515 331 1219 495"> <thead> <tr> <th>研修会名称</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定健康診査・特定保健指導実施者研修会（初任者・経験者向け） ※保険者協議会と共催</td> <td>75人</td> </tr> </tbody> </table> <p><成果> 上記研修会を通じて、特定健診・保健指導を効果的・効率的に実施できる人材の育成を図ることができた。 （保健医療部 保健政策課国民健康保険室）</p>	研修会名称	参加者	特定健康診査・特定保健指導実施者研修会（初任者・経験者向け） ※保険者協議会と共催	75人	<p>—</p>
研修会名称	参加者						
特定健康診査・特定保健指導実施者研修会（初任者・経験者向け） ※保険者協議会と共催	75人						
<p>【今後の取組】 特定健康診査・特定保健指導の実施率向上に向けた普及啓発</p>	<p>県</p>	<p>引き続き、研修会を実施し、健診指導者の養成を行う。</p>	<p>—</p>				
<p>【前年度の実施状況及び成果】 県保健事業の実施（国保対象者）</p>	<p>県</p>	<p><実施状況> 被保険者（国保対象者）の生活習慣病の予防や健康づくりの推進のため、医療機関、薬局、多職種と連携した各種モデル事業をニーズに応じて実施。</p> <table border="1" data-bbox="576 1084 1051 1167"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>市町村数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加市町村数</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p><成果> 各種モデル事業に複数の市町村が参加することで、生活習慣病の予防についての施策の横展開が図られた。 （保健医療部 保健政策課国民健康保険室）</p>	区分	市町村数	参加市町村数	9	<p>25,795</p>
区分	市町村数						
参加市町村数	9						
<p>【今後の取組】 県保健事業の実施（国保対象者）</p>	<p>県</p>	<p>引き続き、多職種と連携しながら被保険者（国保対象者）の生活習慣病の予防や健康づくりを推進する。</p>	<p>49,138</p>				
<p>【前年度の実施状況及び成果】 県立幼児児童生徒健康診断</p>	<p>県</p>	<p><実施状況> 幼児児童生徒の定期健康診断は、学校保健安全法第13条により義務付けられており、毎年定期的実施し、疾病異常者の早期発見早期治療及び適正な健康管理を実施。</p> <p>○学校保健安全法第13条による定期健康診断（茨城県立学校幼児・児童生徒定期健康診断実施要項に基づき実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：4月～6月 ・検査項目：心臓検診（心電図12誘導、血圧） 尿検査（蛋白、潜血、糖） 結核（X線間接撮影、精密検査） 	<p>78,076</p>				

		<ul style="list-style-type: none"> ・幼児児童生徒の実施人数 (人) <table border="1"> <tr> <td>尿</td> <td>55,678</td> </tr> <tr> <td>心臓</td> <td>19,187</td> </tr> <tr> <td>X線間接撮影</td> <td>17,330</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・委託健診機関 <table border="1"> <tr> <td>北部地区</td> <td>(公財) 日立メディカルセンター</td> </tr> <tr> <td>中部地区</td> <td>(一財) 茨城県メディカルセンター</td> </tr> <tr> <td>南部地区</td> <td>(公社) 取手市医師会</td> </tr> <tr> <td>西部地区</td> <td>(公社) 取手市医師会</td> </tr> </table> <p><成果> 幼児児童生徒等の定期健康診断を適正に実施し、結果をもとに事後措置を講ずることができた。 (教育庁 学校教育部保健体育課)</p>	尿	55,678	心臓	19,187	X線間接撮影	17,330	北部地区	(公財) 日立メディカルセンター	中部地区	(一財) 茨城県メディカルセンター	南部地区	(公社) 取手市医師会	西部地区	(公社) 取手市医師会	
尿	55,678																
心臓	19,187																
X線間接撮影	17,330																
北部地区	(公財) 日立メディカルセンター																
中部地区	(一財) 茨城県メディカルセンター																
南部地区	(公社) 取手市医師会																
西部地区	(公社) 取手市医師会																
【今後の取組】 県立幼児児童生徒健康診断	県	引き続き、法に基づき健康診断を実施し、幼児児童生徒の健康状態を把握し、疾病異常者の早期発見早期治療及び適正な健康管理を行う。	79,505														

(3) 認知症の予防等 (第12条関係)

事業名	事業主体	事業の内容	前年度 最終予算額 [千円]														
			今年度 当初予算額 [千円]														
【前年度の実施状況及び成果】 高齢福祉対策事業	県	<p><実施状況> 認知症対策として、以下の取組を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○早期診断・早期対応のための体制整備 ・認知症の理解を深める普及啓発 <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「認知症を知る月間」における、県・市町村等の集中的な啓発(パネル展示等)</td> <td>9月</td> </tr> <tr> <td>イベントと連携した啓発(サッカー公式戦、健康フェス、シン・いばらきメシ総選挙)</td> <td>8~10月</td> </tr> <tr> <td>県民向け認知症フォーラム(参加者236人)</td> <td>12月</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・県指定認知症疾患医療センター(13箇所)を中心とした医療・相談体制の整備を推進するため、医療従事者に対する認知症対応力向上研修を実施。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>研修対象</th> <th>実施回数</th> <th>受講修了者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>かかりつけ医・歯科 医師・看護師等</td> <td>12回</td> <td>1,543人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○認知症の人とその家族等への支援 ・認知症電話相談：119件(認知症介護等の相談に対応) ・若年性認知症支援コーディネーターの配置 配置先：認知症疾患医療センター(2箇所) 支援内容：相談・医療・就労等 認知症の本人・家族の交流会実施(交流会8回、計100人参加)。 	内容	時期	「認知症を知る月間」における、県・市町村等の集中的な啓発(パネル展示等)	9月	イベントと連携した啓発(サッカー公式戦、健康フェス、シン・いばらきメシ総選挙)	8~10月	県民向け認知症フォーラム(参加者236人)	12月	研修対象	実施回数	受講修了者数	かかりつけ医・歯科 医師・看護師等	12回	1,543人	93,010
内容	時期																
「認知症を知る月間」における、県・市町村等の集中的な啓発(パネル展示等)	9月																
イベントと連携した啓発(サッカー公式戦、健康フェス、シン・いばらきメシ総選挙)	8~10月																
県民向け認知症フォーラム(参加者236人)	12月																
研修対象	実施回数	受講修了者数															
かかりつけ医・歯科 医師・看護師等	12回	1,543人															

		<ul style="list-style-type: none"> 施設等従事者の質の向上を図る認知症介護研修の実施（研修会9回、計281人参加）。 認知症の人や家族の社会参加を推進する環境整備 丁寧な声掛け等を行う「認知症の人にやさしい事業所」の認定、誰もが気軽に交流できる認知症カフェ等の設置を促進。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">区分</td> <td style="text-align: center;">R7.3 末累計</td> </tr> <tr> <td>認知症の人にやさしい事業所認定数</td> <td style="text-align: center;">2,524 事業所</td> </tr> <tr> <td>認知症の人が交流できる場（認知症カフェ等）の数</td> <td style="text-align: center;">174 箇所</td> </tr> </table> <p><成果> 上記取組を通じ、認知症の正しい理解の普及により、認知症の早期発見につなげることができた。また、認知症の人やその家族が相談や交流をしたことにより、精神的負担の軽減を図ることができ、安心して暮らせる地域づくりを進めることができた。 (保健医療部 健康推進課地域包括ケア推進室)</p>	区分	R7.3 末累計	認知症の人にやさしい事業所認定数	2,524 事業所	認知症の人が交流できる場（認知症カフェ等）の数	174 箇所	
区分	R7.3 末累計								
認知症の人にやさしい事業所認定数	2,524 事業所								
認知症の人が交流できる場（認知症カフェ等）の数	174 箇所								
【今後の取組】 高齢福祉対策事業	県	引き続き、認知症の正しい理解の普及啓発に取り組むとともに、かかりつけ医、地域包括支援センター、認知症疾患医療センター等の連携による医療・相談体制の充実・強化を図り、認知症になっても、希望を持って共に生きる地域づくりを推進していく。	95,892						

(4) フレイルの予防及び改善（第13条関係）

事業名	事業主体	事業の内容	前年度 最終予算額 [千円]
			今年度 当初予算額 [千円]
【前年度の実施状況及び成果】 地域包括ケア推進担当者研修	県	<p><実施状況> 地域包括ケアシステムの推進のため、市町村担当者や地域包括支援センター職員、事業に携わるリハビリ専門職等の資質向上と市町村による効果的な事業の実施を図ることを目的に、研修や意見交換会を実施。</p> <p>○基礎研修 新任の地域包括支援センター職員や市町村の地域包括ケアシステム担当者を対象に、介護予防・日常生活支援総合事業や地域包括ケアシステム、在宅医療の取組等に関するオンデマンド研修を実施（1回、130人）。</p> <p>○総合事業（サービス・活動C）担当者意見交換会 フレイル状態の高齢者への短期集中予防サービス（サービス・活動C）の効果的な実施を図るため、市町村介護予防担当者及びリハビリ専門職を対象に、事例提供と意見交換を実施（2回、計118人）。</p>	493

		<p><成果> 上記の取組により、新任担当職員の資質向上を図ることができた。 (保健医療部 健康推進課地域包括ケア推進室)</p>							
【今後の取組】 地域包括ケア推進担当者研修	県	<p>研修や担当者意見交換会を継続して実施し、地域包括ケアシステムの推進に携わる職員等の資質向上と効果的な事業実施を図る。</p>	1,079						
市町村伴走支援		<p>市町村が効果的な介護予防事業を実施できるよう有識者を派遣し、事業の見直しについて個別で助言する。</p>	3,260						
【前年度の実施状況及び成果】 介護予防リハビリテーション専門職派遣事業	県	<p><実施状況> 市町村等が実施する「地域ケア会議」等の事業にリハビリテーション専門職（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）を講師として派遣し、技術的な助言を実施。 ※茨城県リハビリテーション専門職協会へ委託 ・派遣件数：延べ605件（23自治体） ・派遣人数：延べ820人</p> <p><成果> 地域においてリハビリテーション専門職が積極的に活用されるとともに、介護予防や介護給付適正化の取組の機能強化を図ることができた。 (保健医療部 健康推進課地域包括ケア推進室)</p>	5,496						
【今後の取組】 介護予防リハビリテーション専門職派遣事業	県	<p>リハビリテーション専門職の派遣を継続して実施するとともに、市町村等に対して派遣事業の活用を働きかけ、地域における介護予防の取組の機能強化を図る。</p>	5,544						
【前年度の実施状況及び成果】 シルバーリハビリ体操の推進	県	<p><実施状況> 高齢化の急速な進展に対応するため、地域の高齢者を「シルバーリハビリ体操指導士」として養成し、体操教室等を通じて、高齢者の健康づくりや介護予防を推進。 ◇シルバーリハビリ体操 大田仁史氏が考案した92種類から成る介護予防のための体操で「道具を使わず、いつでも・どこでも・一人でも出来る体操」となっている。 また、体操指導士は、1級から3級に区分されており、1級指導士は3級指導士養成講習会の講師を務めており、「住民が住民を教え育てる」事業となっている。</p> <p>○体操指導士の養成等 1級及び2級指導士の養成講習会の実施、市町村による3級指導士養成講習会の支援、指導士フォローアップ研修の実施。</p> <table border="1"> <tr> <td>指導士養成数</td> <td>10,660人（累計）</td> </tr> <tr> <td>住民参加数</td> <td>394,419人</td> </tr> <tr> <td>体操教室開催数</td> <td>35,238回</td> </tr> </table> <p>○指導士養成に関する広報 主要日刊新聞において、体操指導士募集等に関する広告を掲載。</p>	指導士養成数	10,660人（累計）	住民参加数	394,419人	体操教室開催数	35,238回	32,410
指導士養成数	10,660人（累計）								
住民参加数	394,419人								
体操教室開催数	35,238回								

		<table border="1"> <tr> <td>新聞社数</td> <td>回数</td> </tr> <tr> <td>5社</td> <td>13回</td> </tr> </table> <p>○体操指導士の意識向上 体操指導士として地域の健康づくりや介護予防の推進に貢献された方々に感謝状を贈呈。</p> <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>受賞者数</td> </tr> <tr> <td>知事賞</td> <td>195人</td> </tr> <tr> <td>福祉部長賞</td> <td>27人</td> </tr> <tr> <td>奨励賞</td> <td>57人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>279人</td> </tr> </table> <p>○介護予防の普及啓発 シルバーリハビリ体操のパンフレットの作成・配布。</p> <table border="1"> <tr> <td>作成数</td> <td>10,000部</td> </tr> <tr> <td>配布先</td> <td>市町村等</td> </tr> </table> <p><成果> シルバーリハビリ体操指導士の養成及び資質の向上、体操に関する普及啓発を通じて、地域におけるシルバーリハビリ体操活動を推進することができた。 (福祉部 長寿福祉課)</p>	新聞社数	回数	5社	13回	区分	受賞者数	知事賞	195人	福祉部長賞	27人	奨励賞	57人	計	279人	作成数	10,000部	配布先	市町村等	
新聞社数	回数																				
5社	13回																				
区分	受賞者数																				
知事賞	195人																				
福祉部長賞	27人																				
奨励賞	57人																				
計	279人																				
作成数	10,000部																				
配布先	市町村等																				
【今後の取組】 シルバーリハビリ体操の推進	県	上記取組について、継続して実施し、地域のシルバーリハビリ体操活動への支援を通じて、高齢者の健康づくりや介護予防を推進する。	40,458																		

(5) オーラルフレイルの予防及び改善 (第14条関係)

事業名	事業主体	事業の内容	前年度 最終予算額 [千円]								
			今年度 当初予算額 [千円]								
<p>【前年度の実施状況及び成果】 歯科保健対策事業 (8020・6424 推進事業、口腔保健支援センター事業)</p>	県	<p>①8020・6424 推進事業 <実施状況> ○8020・6424 運動推進部会の開催 (1回) 生涯を通じた県民の歯と口腔の健康の推進方策等を検討するため、健康いばらき21プランの進行管理、進捗状況評価及び見直し等を実施。 ○県民の歯及び口腔の健康保持増進を図るため、保健、医療、福祉等の指導的立場の者等を対象に歯科口腔保健に関する内容の講習会を実施。</p> <table border="1"> <tr> <td>回数</td> <td>参加者数</td> </tr> <tr> <td>9回</td> <td>425人</td> </tr> </table> <p>○6424 推進者 (地域の歯科保健関係者等) を中心に情報提供を27回実施。 ○障害者の歯及び口腔の健康保持増進を図るため、施設職員、学校職員、歯科医療関係者、保護者等を対象に障害者歯科保健医療に関する講習会を実施。</p> <table border="1"> <tr> <td>回数</td> <td>参加者数</td> </tr> <tr> <td>6回</td> <td>390人</td> </tr> </table>	回数	参加者数	9回	425人	回数	参加者数	6回	390人	<p>① 2,430</p> <p>② 6,468</p>
回数	参加者数										
9回	425人										
回数	参加者数										
6回	390人										

○高齢者の歯及び口腔の健康保持増進を図るため、施設職員、歯科医療関係者等に対し、高齢者歯科保健医療に関する講習会を実施。

回数	参加者数
5回	182人

○歯科医院禁煙支援【再掲】

実施状況及び成果については、8ページ参照。

○地域等で歯科保健指導等を行う歯科衛生士の資質向上を目的に、市町村等で歯科保健指導を行う歯科衛生士等に対して歯科保健指導の技術向上等に関する研修を実施。

回数	参加者数
2回	163人

<成果>

本県独自の歯科保健目標「8020・6424運動」の普及啓発を図るための具体的な取組を実施し、歯科保健関係者等を育成することにより、県民の生涯を通じた歯科口腔保健の向上を支援できた。

②口腔保健支援センター事業

<実施状況>

○茨城県歯と口腔の健康づくり 8020・6424 推進条例に基づく施策を効果的に実施するため、平成 27 年 4 月 1 日に茨城県口腔保健支援センターを設置し、歯科医療業務に従事する者等に対し情報の提供、研修の実施その他の支援を行うとともに県民の歯科口腔保健の推進を図っている。嘱託歯科医師 1 名、歯科衛生士（常勤）1 名、歯科衛生士（会計年度任用職員）1 名を配置。

○事業の企画立案及び効果的な運営等を検討するため、口腔保健支援センター運営委員会を開催。

○働く世代の口腔の健康保持増進を図るため、事業所の衛生管理者等を対象に歯周病予防や口腔管理に関する研修会を実施。

回数	参加者数
8回	217人

○歯科保健医療サービスを受けることが困難な者（障害者）の口腔の健康の保持を推進させることを目的に、障害者施設に入所・通所する者、職員等に対して、歯科専門職による口腔ケア等の歯科保健に関する講話及び実技指導を実施。

回数	参加者数
9回	272人

○入所要介護高齢者等の口腔の健康保持増進を目的に、高齢者施設職員等に対して、歯科専門職による口腔ケア等の歯科保健に関する講話及び実技指導を実施。

回数	参加者数
9回	178人

		<p>○障害者・障害児、要介護高齢者等に対して、それぞれの状況に応じた知識や技術を有する歯科専門職を育成するため、歯科衛生士等に対する研修等を実施。</p> <table border="1"> <tr> <td>内容</td> <td>回数</td> <td>参加者数</td> </tr> <tr> <td>研修</td> <td>2回</td> <td>91人</td> </tr> <tr> <td>実習</td> <td>12回</td> <td>29人</td> </tr> </table> <p><成果> 歯科医療業務に従事する者等に対し情報の提供、研修の実施及びその他の支援を行うとともに、歯科保健関係者等に対して歯科口腔保健に関する普及啓発を行い、歯科口腔保健の推進を図ることができた。 (保健医療部 健康推進課)</p>	内容	回数	参加者数	研修	2回	91人	実習	12回	29人	
内容	回数	参加者数										
研修	2回	91人										
実習	12回	29人										
<p>【今後の取組】 歯科保健対策事業 (8020・6424 推進事業、口腔保健支援センター事業)</p>	県	<p>①8020・6424 推進事業 上記取組を継続して実施し、県民の生涯を通じた歯と口腔の健康の保持増進、県民の歯科保健に対する意識の向上を目指す。</p> <p>②口腔保健支援センター事業 上記取組を継続して実施し、歯科医療業務に従事する者等に対し情報の提供、研修の実施その他の支援を行うことで、県民に対する歯科口腔保健に関する普及啓発を図る。</p>	<p>① 3,187</p> <p>② 8,990</p>									

(6) 感染症の予防 (第15条関係)

事業名	事業主体	事業の内容	前年度 最終予算額 [千円]
			今年度 当初予算額 [千円]
<p>【前年度の実施状況及び成果】 感染症予防医療法施行事業</p>	県	<p><実施状況> 新型コロナウイルス感染症への対応から得られた教訓を生かし、感染症予防計画に基づき、感染症の発生予防やまん延防止を図るとともに、新たな感染症など未曾有の危機において適切な対応ができるよう、平時から体制の構築に取り組んだ。</p> <p>○県民への感染症に関する正しい知識の普及啓発、情報発信 県内の感染症流行状況を毎週発信するとともに、県民への影響が大きい感染症発生時には、報道機関への資料提供やSNSを活用した情報発信を実施。</p> <p>○感染症対策連携協議会 新型コロナウイルス感染症での対応を踏まえた感染症施策等を検討するため、感染症対策連携協議会を2回開催。</p> <p>○感染症に係る研修会の開催 全医療機関、高齢者福祉施設において感染症対応が行えるよう、感染対策担当者を対象に研修会を計6回実施。</p>	<p>317,718 の一部</p>

		<p><成果></p> <p>当事業により、県民への感染症に関する正しい知識の普及啓発、情報発信を行うとともに、医療機関等における感染対策担当者を育成することにより、本県の感染症対応力を強化することができた。</p> <p>(保健医療部 疾病対策課感染症対策室)</p>	
【今後の取組】 感染症予防医療 法施行事業	県	引き続き、関係者と連携し、感染症の予防に関する正しい知識の普及啓発その他の必要な施策を実施する。	155,394 の一部

(7) 栄養学等に関する知識の習得等 (第16条関係)

事業名	事業主体	事業の内容	前年度 最終予算額 [千円]
			今年度 当初予算額 [千円]
【前年度の実施 状況及び成果】 栄養改善・給食 施設指導	県	<p><実施状況></p> <p>県内特定給食施設等に対し、各保健所において健康増進法第18条等に基づく助言及び指導を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別指導 675 施設 ・集団指導延べ 1,429 施設 <p><成果></p> <p>給食施設等への助言及び指導により、各施設の給食管理及び栄養管理の質の向上を図り、県民の健康づくりを推進することができた。</p> <p>(保健医療部 健康推進課)</p>	5,410
【今後の取組】 栄養改善・給食 施設指導	県	引き続き給食施設等における適切な栄養管理等が実施されるよう、助言及び指導を実施する。	5,666
【前年度の実施 状況及び成果】 栄養団体育成事 業	県	<p><実施状況></p> <p>地域・職場・学校等において栄養指導業務を担う栄養士等の各職域に合わせた内容の専門研修会を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新任栄養士等研修 (1回) 25 人 ・栄養士等専門研修 (2回) 109 人、動画研修 54 人 <p><成果></p> <p>栄養士等への研修会実施により、栄養士等の資質の向上を図ることで、各職域における栄養指導を推進することができた。</p> <p>(保健医療部 健康推進課)</p>	7,511
【今後の取組】 栄養団体育成事 業	県	引き続き栄養士等への専門研修会等を通じた団体の育成を通じ、各職域における栄養士等の資質の向上を図る。	9,096

<p>【前年度の実施状況及び成果】 食生活改善地区組織育成・強化事業</p>	<p>県</p>	<p><実施状況> 食生活の普及啓発活動をしている食生活改善推進員向けに、地区組織リーダー育成研修を開催。 ・地区組織リーダー育成研修（3回） 452人</p> <p><成果> 地区組織リーダー育成研修を通じた食生活改善地区組織の育成により、組織を強化し、推進員の活動を活性化することで、地域の健康づくりを推進することができた。 (保健医療部 健康推進課)</p>	<p>2,097</p>												
<p>【今後の取組】 食生活改善地区組織育成・強化事業</p>	<p>県</p>	<p>継続的な組織強化支援により、推進員の活動の活性化を通じた地域の健康づくりの推進を図る。</p>	<p>2,106</p>												
<p>【前年度の実施状況及び成果】 おいしく減塩推進事業</p>	<p>県</p>	<p><実施状況> 生活習慣病の要因の一つである食塩摂取量を減らすため、以下の取組を実施。 ○減塩の日「いばらき美味しお Day（毎月20日）」を中心とした減塩啓発活動を実施。 ・県庁食堂での全品適塩メニュー提供、企業とコラボした「美味しお！ランチ（毎月約100食）」の提供 ・YouTubeでの適塩レシピ動画配信、SNS（X）・専用HP・レシピ掲載サイトでの情報発信 ・県内全公立小中学校での「全校一斉いばらき美味しお給食」の実施 等 ○適塩メニューを提供する飲食店等を「いばらき美味しおスタイル指定店」等に指定し、県民が身近な飲食店等で適塩料理を選択できる環境を整備。 ・指定・登録数：503店舗（R7.3.31現在） ○民間企業等の商品減塩化支援 ・県内飲食店への減塩セミナー開催（2回、計21名参加） ・県内中学生が考案した適塩弁当を県内スーパーが販売する企画において、減塩の取組やコツについて講義</p> <p><成果> 上記取組を通じ、県民への減塩意識醸成、減塩に取り組みやすい環境の整備を図ることができた。また、県民の食塩摂取量は低下傾向にある。 ・茨城県民の食塩摂取量</p> <table border="1" data-bbox="560 1711 1059 1879"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>男性</th> <th>女性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>11.5g</td> <td>10.1g</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>11.4g</td> <td>9.7g</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>10.9g</td> <td>8.9g</td> </tr> </tbody> </table> <p>出典：茨城県総合がん対策推進モニタリング調査 (保健医療部 健康推進課)</p>	年	男性	女性	H23	11.5g	10.1g	H28	11.4g	9.7g	R4	10.9g	8.9g	<p>11,936</p>
年	男性	女性													
H23	11.5g	10.1g													
H28	11.4g	9.7g													
R4	10.9g	8.9g													
<p>【今後の取組】 おいしく減塩推進事業</p>	<p>県</p>	<p>引き続き、民間企業等と連携し、県民への普及啓発による減塩意識の醸成に取り組みとともに、減塩に取り組みやすい環境整備に努める。</p>	<p>12,076</p>												

<p>【前年度の実施状況及び成果】 いばらき食育ライフ推進事業</p>	<p>県</p>	<p><実施状況> ○茨城県食育推進計画推進のため、茨城県食育推進部会及び茨城県食育推進幹事会を開催（各1回）。 ○食育支援ネットワーク事業を通じ、市町村の食育推進計画に基づく食育推進の支援を行うとともに、食育を通じた生活習慣病予防（主に高血圧）対策として、適塩、肥満予防等の重要性を関係機関に周知。 ○適正な食塩相当量・エネルギー量・野菜量のメニューを広く普及することを目的に「ヘルシーメニューコンクール」を開催し、受賞作品をまとめたリーフレットを作成し、県内のスーパー等へ配付。 ・応募作品数：168点、最優優秀賞1点、優秀賞5点</p> <p><成果> 県食育推進計画に基づき、関係者と連携した食育の取組を実施することにより、食生活の改善を通じた県民の健康づくりを推進することができた。 (保健医療部 健康推進課)</p>	<p>2,146</p>
<p>【今後の取組】 いばらき食育ライフ推進事業</p>	<p>県</p>	<p>引き続き、県食育推進計画に基づく食育取組の拡大を図るため、関係団体と連携した食育推進運動を展開する。</p>	<p>2,167</p>
<p>【前年度の実施状況及び成果】 令和6年度保育士等キャリアアップ研修 (食育・アレルギー対応)</p>	<p>県</p>	<p><実施状況> 県内で保育所等に勤務する保育士等が食育に関する理解を深め、適切に食育計画の作成及び活用できる力を養うことを目的として研修を実施。 ○研修概要 ・受講時間 15時間 ・研修内容 栄養に関する基礎知識 食育計画の作成と活用等 ・参加者 保育士等 1,036名</p> <p><成果> 国の研修ガイドラインに基づき、栄養や食育に関する理解を深め、食生活の改善指導に取り組むことができる保育士等を養成することができた。 (福祉部 子ども政策局子ども未来課)</p>	<p>51,103</p>
<p>【今後の取組】 令和7年度キャリアアップ研修の実施 (食育・アレルギー対応)</p>	<p>県</p>	<p>引き続き、保育現場において食育・アレルギー対応を行うことができる保育士養成の研修実施を図る。</p>	<p>50,652</p>
<p>【前年度の実施状況及び成果】 児童生徒の食育推進事業 (各種研修の充実)</p>	<p>県</p>	<p><実施状況> 学校が家庭や地域と連携し、学校教育活動全体を通じて食育を推進することにより、児童生徒の食に関する正しい知識の習得と望ましい食習慣の定着を図った。</p>	<p>279</p>

		<p>○食育推進指導者研修会 学校における食に関する指導の充実を図るため、食育に携わる教職員を対象に食育の普及啓発を図ることを目的として実施。</p> <table border="1"> <tr> <td>回数</td> <td>対象者</td> <td>参加者数</td> </tr> <tr> <td>1回</td> <td>食育推進指導者（給食主任等）</td> <td>685人</td> </tr> </table> <p>○栄養教諭等研修会 食に関する指導の中核的な役割を担う栄養教諭等の指導力向上を図ることを目的として実施。</p> <table border="1"> <tr> <td>回数</td> <td>対象者</td> <td>参加者数</td> </tr> <tr> <td>1回</td> <td>栄養教諭、学校栄養職員</td> <td>258人</td> </tr> </table> <p><成果> 研修会の充実を図ったことにより、学校における食育の推進に対して支援することができた。 (教育庁 学校教育部保健体育課)</p>	回数	対象者	参加者数	1回	食育推進指導者（給食主任等）	685人	回数	対象者	参加者数	1回	栄養教諭、学校栄養職員	258人	
回数	対象者	参加者数													
1回	食育推進指導者（給食主任等）	685人													
回数	対象者	参加者数													
1回	栄養教諭、学校栄養職員	258人													
【今後の取組】 児童生徒の食育推進事業（各種研修の充実）	県	<p>継続して研修会を実施し、食育に携わる教職員の資質向上を図ることで、家庭や地域と連携し、学校教育活動全体を通じて食育を推進することにより、児童生徒の食に関する正しい知識の習得と望ましい食習慣の定着を図っていく。</p>	280												

(8) 運動の習慣化の推進等（第17条関係）

事業名	事業主体	事業の内容	前年度 最終予算額 [千円]
			今年度 当初予算額 [千円]
【前年度の実施状況及び成果】 いばらき健康寿命日本一プロジェクト推進	県	<p><実施状況> 働く世代の健康づくりを推進するため、以下の取組を実施。</p> <p>○いばらき健康経営推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員の健康増進に積極的に取り組む事業所を「いばらき健康経営推進事業所」と認定。 ・新規認定事業所の増加を目的として、協会けんぽや包括連携協定を結ぶ企業等と連携して、健康経営普及啓発セミナーを開催。 ・認定事業所に健康経営の更なる推進を促すために、県主催でフォローアップ研修会を実施。 いばらき健康経営事業所数：488事業所（R7.3.31現在） <p>○ヘルスケアポイント事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康推進アプリ「元気アップ！りいばらき」の運営及び収集データを活用した分析。 ・日々の健康づくりにより貯めたヘルスケアポイントに応じて、景品抽選への応募が可能（年に2回）。 ・ダウンロード後も健康づくりを楽しめるように、毎月イベント開催。 	26,203

		<p>健康推進アプリ「元気アップ！りいばらき」登録者数 総登録者数：76,154人（R7.3.31現在） うちR6新規登録者数：14,288人</p> <p><成果> いばらき健康経営推進事業所数及び健康推進アプリ「元気アップ！りいばらき」登録者数は順調に増加しており、運動習慣の定着推進が図られた。 （保健医療部 健康推進課）</p>										
【今後の取組】 いばらき健康寿命日本一プロジェクト推進	県	引き続き、県内事業所への健康経営の普及及びアプリの活用による運動習慣の定着を促すことにより、働く世代の健康づくりを推進する。	26,488									
【前年度の実施状況及び成果】 健康いばらき21推進事業 （運動習慣の定着推進、健康づくり功労者等表彰）	県	<p><実施状況></p> <p>①運動習慣の定着推進</p> <p>○ヘルスロードの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全性に配慮された道を「ヘルスロード」として指定し、市町村等が行うウォーキング大会をホームページで周知する等、県民の利活用を推進。 <p>指定コース：延 368 コース、1,231.7km</p> <p>○運動習慣定着促進検討部会の開催</p> <p>R6.11.20 開催 ヘルスロード新規コース等の指定及び利活用等について協議。</p> <p>②健康づくり功労者表彰</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域等において健康づくりに関して功績のあった者並びに個人、家族又は地域、学校、職域において、自らの健康の保持増進のために県民の模範となる顕著な実践を行っている者を表彰。 <p>表彰者・団体数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>個人（人）</th> <th>団体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>知事賞</td> <td>43</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>保健医療部長賞</td> <td>95</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p><成果></p> <p>①運動習慣の定着推進</p> <p>ヘルスロードの指定コースを増やすとともに、運動習慣定着促進検討部会で協議したヘルスロードに関する情報発信等を実施することにより、県民の運動習慣の定着を図ることができた。</p> <p>②健康づくり功労者表彰</p> <p>継続して実践活動を行う表彰者の日ごろの労苦に報いるとともに、他の模範として健康づくり推進事業の発展を図ることができた。 （保健医療部 健康推進課）</p>		個人（人）	団体	知事賞	43	1	保健医療部長賞	95	2	<p>① 27</p> <p>② 572</p>
	個人（人）	団体										
知事賞	43	1										
保健医療部長賞	95	2										

<p>【今後の取組】 健康いばらき 21 推進事業 (運動習慣の定着推進、健康づくり功労者等表彰)</p>	<p>県</p>	<p>①運動習慣の定着推進 引き続き、ヘルスロードのコース指定等を通じて、県民が運動に取り組みやすい環境づくりを推進する。</p> <p>②健康づくり功労者表彰 引き続き、表彰事業を継続し、県民の健康づくりに係る優良事例の横展開を図る。</p>	<p>① 233 ② 572</p>										
<p>【前年度の実施状況及び成果】 県生涯スポーツ推進事業</p>	<p>県</p>	<p><実施状況> 県民誰もが、自分の体力や適性に合ったスポーツを楽しむことができるよう、地域における生涯スポーツ推進体制の確立を図った。</p> <p>○生涯スポーツ指導者の養成 専門知識や高い指導技術の修得を目的とした指導者養成講習会を実施するとともに、市町村と連携し、養成した指導者の活躍の場を設けるなど、活用の促進を図った。</p> <table border="1" data-bbox="531 801 1233 880"> <tr> <td>茨城県生涯スポーツ指導員養成講習会兼スポーツリーダーバンク登録指導者講習会</td> <td>受講者：16人</td> </tr> </table> <p>○スポーツリーダーバンクの充実 スポーツ・レクリエーション団体等から推薦された指導者並びに生涯スポーツ指導員養成講習会を受講した者の県スポーツリーダーバンクへの登録を促すとともに、その情報を県民へ広く周知し、指導員の活用を図った。</p> <table border="1" data-bbox="531 1081 1161 1160"> <tr> <td>県スポーツリーダーバンク登録指導者</td> <td>411人 (R7.3.31 現在)</td> </tr> </table> <p>○働く世代のためのスポーツ活動支援 「働く世代」が運動しやすい環境づくりを目指し、県内事業所や総合型地域スポーツクラブ等が行うモデル事業への支援やスポーツの有用性に関する啓発等を行うことで、スポーツ実施率の向上を図った。</p> <table border="1" data-bbox="531 1361 1161 1440"> <tr> <td>働く世代のスポーツ活動支援事業補助金</td> <td>11 事業 1,744 千円</td> </tr> </table> <p>○スポーツ情報ホームページ運営 県民に広くスポーツイベントやスポーツ施設、スポーツ指導者等の情報提供を行い、スポーツに対する関心度の向上を図った。</p> <p>○総合型地域スポーツクラブの育成 市町村を訪問し、スポーツ教室等における総合型地域スポーツクラブの活用を働きかけるとともに、県内のスポーツクラブに対し、活用可能な財源に係る情報提供を行うなど、活動支援を行い、総合型地域スポーツクラブの育成を図った。</p> <table border="1" data-bbox="531 1843 1161 2000"> <tr> <td>市町村訪問</td> <td>16 件</td> </tr> <tr> <td>総合型地域スポーツクラブ数</td> <td>34 市町村 49 クラブ (R7.3.31 現在)</td> </tr> </table>	茨城県生涯スポーツ指導員養成講習会兼スポーツリーダーバンク登録指導者講習会	受講者：16人	県スポーツリーダーバンク登録指導者	411人 (R7.3.31 現在)	働く世代のスポーツ活動支援事業補助金	11 事業 1,744 千円	市町村訪問	16 件	総合型地域スポーツクラブ数	34 市町村 49 クラブ (R7.3.31 現在)	<p>7,008</p>
茨城県生涯スポーツ指導員養成講習会兼スポーツリーダーバンク登録指導者講習会	受講者：16人												
県スポーツリーダーバンク登録指導者	411人 (R7.3.31 現在)												
働く世代のスポーツ活動支援事業補助金	11 事業 1,744 千円												
市町村訪問	16 件												
総合型地域スポーツクラブ数	34 市町村 49 クラブ (R7.3.31 現在)												

		<p><成果> 生涯スポーツ指導者の育成・活用促進、働く世代のスポーツ活動支援、県民への県内スポーツ情報の提供等の取組により、県内の生涯スポーツの推進を図ることができた。 (政策企画部 スポーツ推進課)</p>					
【今後の取組】 県生涯スポーツ推進事業	県	上記取組について継続して実施し、県民誰もがスポーツを楽しむことができるよう、地域における生涯スポーツの推進を図る。	7,180				
【前年度の実施状況及び成果】 県北ニューツーリズム推進事業	県	<p><実施状況> 地域に点在する自然、歴史・文化遺産、などの多様な地域資源をハイキング道などで一体的につなぎ、広域的に歩きながら地域を巡るロングトレイルコースとして整備し、新たな滞在・体験型の観光資源として活用するとともに、ロングトレイルを活用した健康づくりの推進を図った。</p> <p>○常陸国ロングトレイルコースの整備・活用等 ロングトレイルコースの整備・保全を行うため、コース底地の権利関係調整やコース下草刈、道標や案内板の作成及び設置を行った。</p> <table border="1"> <tr> <td>総距離</td> <td>開通済(R6まで)</td> </tr> <tr> <td>約320km</td> <td>約275km</td> </tr> </table> <p>○県内外向け情報発信等 コースマップやホームページなどで、コースやコース上の地域資源の一体的な発信を行った。 ・R6年度ロングトレイル来訪者数：約10万人</p> <p><成果> ロングトレイルの整備のほか、登山アプリと連携したデジタルスタンプラリーやコンテンツの磨き上げなどを実施することにより、初心者から登山愛好家など、幅広い層の方に、ロングトレイルの魅力を発信し、来訪者数の増加を図ることができた。 (政策企画部 県北振興局)</p>	総距離	開通済(R6まで)	約320km	約275km	122,054
総距離	開通済(R6まで)						
約320km	約275km						
【今後の取組】 県北ニューツーリズム推進事業	県	常陸国ロングトレイルの魅力を活かしながら、年齢問わず、幅広い方に来ていただけるよう、引き続きロングトレイルの整備・保全を図り、県民の健康づくりを推進する。	98,900				
【前年度の実施状況及び成果】 シルバーリハビリ体操の推進	県	【再掲】 実施状況及び成果については、12ページ参照。 (福祉部 長寿福祉課)	32,410				
【今後の取組】 シルバーリハビリ体操の推進	県	【再掲】 今後の取組については、13ページ参照。	40,458				
【前年度の実施状況及び成果】 子どもの体力向上支援事業	県	<p><実施状況> 児童生徒の体力の向上をより一層推進するため、以下の取組を実施。</p>	4,357				

○児童生徒の体力・運動能力調査

体育の指導及び体力向上の基礎資料とするため、小・中・高等学校を対象に調査を実施。

- ・総合評価A+Bの割合

小学生	46.7%
中学生	54.3%
高校生	48.8%
全体	49.1%

○体力アップ推進プランの策定

体育授業の充実・改善及び休み時間等の効果的な活用を図るため、全学校が各学校の課題に応じた「体力アップ推進プラン」を策定。

○体育授業サポーター派遣事業

体育授業の活性化と児童の活動の充実を図るため、実技の示範及び児童の運動の補助ができる県内外の大学生等を「体育授業サポーター」として小学校に派遣。

- ・18校に39人を派遣

○体育授業アドバイザー派遣事業

全校種に対して、体育指導の充実と教員の指導力向上を図るため、大学教授等を「体育授業アドバイザー」として派遣。

- ・18校に9人（重複あり）を派遣

○スポーツチャレンジ

縄とび等の全身運動を伴う各種ゲームを体育の授業、業間休み、昼休み等を実施し、その記録を県内の各学校で競い合うことで、児童生徒に運動の楽しさや喜びを味わわせ、運動の習慣化及び体力の向上を図った。

- ・参加数等

種目数	10種目
参加クラス数	789
参加グループ数	661
参加のべ人数	26,552人

○学校体育指導資料の作成

本県学校体育の課題の解決及び教員の指導力向上を図るため、指導資料集を作成。

- ・小学校：わかりやすい体育授業実践例
- ・中学校：ICTを活用した授業実践例
- ・高等学校：ICTを活用した授業実践例

○研修会の開催

- ・学校体育実技指導者講習会

実技を中心とした研修を実施し、体育担当教員の指導力向上を図る。

講座数：12講座（幼小1・小5・中高5・小中高1）

- ・体育主任研修会

体育主任としての職務について認識を深め、指導力向上と学校体育の充実を図る。

		<p>○体力づくり推進委員会の設置 各学校に対し、「体力づくり推進委員会」（保護者、地域人材及び学校関係者で構成）を設置し、家庭や地域と連携し、体力向上に係る課題の解決に取り組むよう依頼。 ・設置状況：小学校 71.1% 中学校 75.2%</p> <p><成果> 上記取組を通じて、各学校における児童生徒の体力向上をより一層推進することができた。 (教育庁 学校教育部保健体育課)</p>	
【今後の取組】 子どもの体力向上支援事業	県	今後も上記取組を継続し、教員の指導力向上及び児童生徒の体力の向上を図る。	5,253

(9) 適切な休養等 (第 18 条関係)

事業名	事業主体	事業の内容	前年度 最終予算額 [千円]
			今年度 当初予算額 [千円]
【前年度の実施状況及び成果】 健康いばらき 21 推進事業 (生活習慣病予防対策推進)	県	【再掲】 実施状況及び成果については、6 ページ参照。 (保健医療部 健康推進課)	5,885
【今後の取組】 健康いばらき 21 推進事業 (生活習慣病予防対策推進)	県	【再掲】 今後の取組については、6 ページ参照。	5,885
【前年度の実施状況及び成果】 適切な休養等に関する教育	県	<p><実施状況></p> <p>○学校の授業等を通じた指導 保健の授業や特別活動の時間を活用し、食事や運動など、健康な生活習慣を身に付けるための指導を行った。 ・小学校 : 規則正しい生活と健康の関係 ・中学校 : 休養及び睡眠と健康との関連性 ・高等学校 : 休養及び睡眠がもたらす心身への影響</p> <p><成果> 心身の保持増進を図るためには、休養や睡眠が必要であることについて、理解を深めることができた。 (教育庁 学校教育部保健体育課)</p>	—
【今後の取組】 適切な休養等に関する教育	県	児童生徒が、健康の大切さを認識し、発達段階に応じて、心身の保持増進に取り組むことができるよう、健康教育の推進に努める。	—

(10) 心の健康の保持等（第 19 条関係）

事業名	事業主体	事業の内容	前年度 最終予算額 [千円]
			今年度 当初予算額 [千円]
【前年度の実施状況及び成果】 自殺対策緊急強化事業	県	<p><実施状況></p> <p>心の悩みや不安がある方が相談しやすいように、電話相談だけでなく、SNS 相談やオンライン相談を実施し、多様な相談窓口を設置。</p> <p>○相談窓口の設置</p> <p>ア いばらきこころのホットライン（電話相談） 毎日 9 時から 12 時、13 時から 16 時まで（祝日・年末年始除く）電話相談を実施。 ・相談件数：10,217 件</p> <p>イ こころの SNS 相談@いばらき 毎日 17 時から 22 時まで相談員 3 名で LINE での相談を実施。 ・相談件数：3,509 件</p> <p>ウ 女性のためのこころのオンライン相談@いばらき 女性を対象に毎月第 1・3・5 土曜日の 13 時から 16 時まで、女性の公認心理師 1 名により Zoom での相談を実施。 ・相談件数：83 件</p> <p>○普及啓発 県広報紙ひばり、ホームページ、リーフレット等により、「いばらきこころのホットライン」や「いのちの電話」などの各種相談窓口を幅広く周知。</p> <p><成果> 電話相談「いばらきこころのホットライン」に加え、若者のコミュニケーション手段として広く普及している SNS を活用した相談窓口等を設置し、心の健康の保持に寄与した。</p> <p style="text-align: right;">（福祉部 障害福祉課）</p>	76,217
【今後の取組】 自殺対策緊急強化事業	県	引き続き、心の悩みや不安がある方向けの相談体制を強化するとともに、より多くの方を相談窓口へ誘導できるよう、相談窓口の周知や普及啓発を図っていく。	81,036
【前年度の実施状況及び成果】 ひきこもり対策推進事業	県	<p><実施状況></p> <p>ひきこもり対策の推進に必要な体制を整備し、ひきこもり状態にある本人や家族等を支援するとともに、関係機関等との連携を図り、ひきこもり者等の福祉の向上を図った。</p> <p>○ひきこもり相談支援センターの設置 ひきこもり者や家族等への電話・来所・訪問により相談支援を実施。</p>	22,861

		<table border="1"> <tr> <td>相談 延件数</td> <td>3,595 件</td> </tr> <tr> <td>相談 実件数</td> <td>535 件</td> </tr> </table> <p>○保健所（サテライト）における支援 ひきこもり相談支援センター地域拠点（サテライト）として、専門相談や家族教室等を実施。</p> <table border="1"> <tr> <td>専門相談 延件数</td> <td>36 件</td> </tr> <tr> <td>一般相談 延件数</td> <td>357 件</td> </tr> <tr> <td>家族教室 開催回数</td> <td>99 回</td> </tr> </table> <p>○精神保健福祉センターによる事業 ひきこもり支援に係る人材育成のため研修会、理解を深めるための講演会等を実施。</p> <table border="1"> <tr> <td>研修会</td> <td>8 回</td> </tr> <tr> <td>講演会</td> <td>1 回</td> </tr> </table> <p><成果> 本人及び家族の状況に応じたきめ細かい支援を行い、福祉の増進に寄与した。関係機関・団体の支援技術の向上及び連携による支援体制の確保・強化を推進した。ひきこもりに関する正しい知識の普及啓発により、理解の増進を図った。 (福祉部 障害福祉課)</p>	相談 延件数	3,595 件	相談 実件数	535 件	専門相談 延件数	36 件	一般相談 延件数	357 件	家族教室 開催回数	99 回	研修会	8 回	講演会	1 回	
相談 延件数	3,595 件																
相談 実件数	535 件																
専門相談 延件数	36 件																
一般相談 延件数	357 件																
家族教室 開催回数	99 回																
研修会	8 回																
講演会	1 回																
【今後の取組】 ひきこもり対策推進事業	県	<p>引き続き上記取組により、多様な相談にきめ細かく寄り添い、本人の社会参加を促進し、本人及び家族等の福祉の増進を図る。</p> <p>ひきこもりに関する正しい知識の普及啓発により、早期の相談につなげるとともに、相談しやすい地域づくりを進める。</p>	23,305														

(11) 高齢者の健康づくり（第 20 条関係）

事業名	事業主体	事業の内容	前年度 最終予算額 [千円]
			今年度 当初予算額 [千円]
【前年度の実施状況及び成果】 シルバーリハビリ体操の推進	県	【再掲】 実施状況及び成果については、12 ページ参照。 (福祉部 長寿福祉課)	32,410
【今後の取組】 シルバーリハビリ体操の推進	県	【再掲】 今後の取組については、13 ページ参照。	40,458

<p>【前年度の実施状況及び成果】 高齢者の生きがいづくりの推進</p>	<p>県</p>	<p><実施状況> 高齢者の生きがいと健康づくりを推進するため、高齢者のスポーツ・健康づくり活動や指導者育成事業等を総合的に実施することにより、高齢者の社会活動の振興を図った。 ※委託先：(社福)茨城県社会福祉協議会(茨城わくわくセンター)</p> <p>①全国健康福祉祭(ねんりんピック)への選手団派遣 ねんりんピックはばたけ鳥取 2024 (R6. 10. 19~10. 22)に、本県監督・選手等 128 人を派遣。 <結果(優勝)></p> <table border="1" data-bbox="568 595 1026 842"> <tr><td>水泳(個人)</td><td>延べ9人</td></tr> <tr><td>水泳(団体)</td><td>1団体</td></tr> <tr><td>ソフトバレー</td><td>1団体</td></tr> <tr><td>太極拳</td><td>1団体</td></tr> <tr><td>ダンススポーツ</td><td>1団体</td></tr> <tr><td>将棋</td><td>1団体</td></tr> </table> <p>※上記のほか、美術展(写真部門)において、1人が厚生労働大臣賞を受賞。</p> <p>②茨城県健康福祉祭</p> <ul style="list-style-type: none"> いばらきねんりんスポーツ大会 R6. 10. 29に笠松運動公園にて実施し、約1,100人が参加。 <種目> ゲートボール、グラウンドゴルフ、ペタンク、クロッケー、輪投げ いばらきねんりん文化祭(美術展) R7. 2. 22~2. 27にザ・ヒロサワシティ会館にて開催。 <応募数等> (点) <table border="1" data-bbox="568 1361 1026 1653"> <thead> <tr><th>部門</th><th>応募数</th><th>入賞数</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>日本画</td><td>35</td><td>11</td></tr> <tr><td>洋画</td><td>94</td><td>13</td></tr> <tr><td>工芸</td><td>83</td><td>14</td></tr> <tr><td>書</td><td>44</td><td>11</td></tr> <tr><td>写真</td><td>136</td><td>15</td></tr> <tr><td>計</td><td>392</td><td>64</td></tr> </tbody> </table> <p>③ニュースポーツ・eスポーツ普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ニュースポーツ推進員養成講習会等講習会等を以下のとおり実施。 <table border="1" data-bbox="568 1809 1238 1977"> <thead> <tr><th>取組内容</th><th>回(件)数</th><th>参加者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>推進員講習会</td><td>1回</td><td>29人</td></tr> <tr><td>体験教室</td><td>3回</td><td>101人</td></tr> <tr><td>用具貸出し</td><td>269件</td><td>—</td></tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> eスポーツ体験会・サロン等体験会等を以下のとおり実施。 	水泳(個人)	延べ9人	水泳(団体)	1団体	ソフトバレー	1団体	太極拳	1団体	ダンススポーツ	1団体	将棋	1団体	部門	応募数	入賞数	日本画	35	11	洋画	94	13	工芸	83	14	書	44	11	写真	136	15	計	392	64	取組内容	回(件)数	参加者数	推進員講習会	1回	29人	体験教室	3回	101人	用具貸出し	269件	—	<p>①~③ 14,337 ④ 3,613</p>
水泳(個人)	延べ9人																																															
水泳(団体)	1団体																																															
ソフトバレー	1団体																																															
太極拳	1団体																																															
ダンススポーツ	1団体																																															
将棋	1団体																																															
部門	応募数	入賞数																																														
日本画	35	11																																														
洋画	94	13																																														
工芸	83	14																																														
書	44	11																																														
写真	136	15																																														
計	392	64																																														
取組内容	回(件)数	参加者数																																														
推進員講習会	1回	29人																																														
体験教室	3回	101人																																														
用具貸出し	269件	—																																														

		<table border="1"> <tr> <td>取組内容</td> <td>回数 (回)</td> </tr> <tr> <td>体験会</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>サロン</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>ねんりんピック予選会</td> <td>1</td> </tr> </table> <p>④元気シニア地域貢献事業 豊富な知識、技術を持った高齢者（又は団体）を「シニアバンク」に登録し、学校等からの依頼を受け、「シニアマスター」として派遣。 <登録件数等> (件)</p> <table border="1"> <tr> <td>登録者数</td> <td>275</td> </tr> <tr> <td>派遣数</td> <td>140</td> </tr> </table> <p><成果> 多様化する高齢者の価値観、趣向、ライフスタイルなどに応じた社会参加の場を創出し、高齢者の生きがいと健康づくりを推進することができた。 (福祉部 長寿福祉課)</p>	取組内容	回数 (回)	体験会	11	サロン	21	ねんりんピック予選会	1	登録者数	275	派遣数	140	
取組内容	回数 (回)														
体験会	11														
サロン	21														
ねんりんピック予選会	1														
登録者数	275														
派遣数	140														
【今後の取組】 高齢者の生きがいづくりの推進	県	上記取組を一層推進することにより、高齢者一人ひとりが健康で生き生きと暮らし活躍できる社会づくりに努めていく。	①～③ 14,531 ④ 3,848												

(12) 女性の健康づくり (第 21 条関係)

事業名	事業主体	事業の内容	前年度 最終予算額 [千円]
			今年度 当初予算額 [千円]
【前年度の実施状況及び成果】 健康いばらき 21 推進事業 (総合普及啓発)	県	<p><実施状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ○女性の健康週間(3月1日から3月8日まで)を中心に、県ホームページや SNS を活用し、女性の健康づくりや相談窓口に関する情報を発信。 ○保健所等において、女性の健康を含む健康相談を実施。 ○女性の健康づくりの視点を取り入れた取組が実施されるよう、関係団体等へ周知。 <p><成果> 女性特有の健康課題の解決を目指し、相談窓口等の情報提供を行うなど、女性の健康づくりを支援することができた。 (保健医療部 健康推進課)</p>	1,425 の一部
【今後の取組】 健康いばらき 21 推進事業 (総合普及啓発)	県	引き続き、女性の健康に関する広報活動による普及啓発を行うとともに、女性の健康づくりの視点を踏まえて生活習慣病発症及び重症化予防の取組を推進していく。	2,417 の一部

<p>【前年度の実施状況及び成果】 妊娠等相談支援事業</p>	<p>県</p>	<p><実施状況> 妊娠等に関する専門相談窓口の設置や、将来の妊娠を考 えながら自分たちの生活や健康に向き合うプレコンセプシ ョンケアを推進するため健康教育を実施。</p> <p>○いばらき妊娠・子育てほっとライン 予期せぬ妊娠や産後の育児、妊娠や出産に関する悩みな どを助産師などの専門家へ相談できる窓口を設置。 電話による相談に応じるほか、LINE 相談にも応じた。 ・相談件数：1,206 件</p> <p>○健康教育事業 小学校・中学校・高校等で行う「いのちの教育」と、大 学、専門学校、企業等の主に 20 歳代前後の男女を対象に 実施するプレコンセプションケア講座を実施。 ・実施回数：33 回</p> <p><成果> 妊娠・出産に関する悩みを持つ妊産婦やその家族への相 談支援を行い、悩みの解消や必要な支援につなげることが できた。また、男女を問わず、生殖や妊娠、出産に関する 正しい知識の普及を図り、健康管理を促すことができた。 (福祉部 子ども政策局少子化対策課)</p>	<p>7,196</p>
<p>【今後の取組】 妊娠等相談支 援事業</p>	<p>県</p>	<p>上記取組を継続して実施することで、妊娠・出産時期へ の悩みに対する相談体制を講じ、この時期特有の問題を解 決するほか、若い時期から将来の妊娠に向け、正しい知識 を身に付けることで自らの健康について考えることができ るよう、プレコンセプションケアの普及啓発を図る。</p>	<p>11,272</p>

(13) 県民の理解の促進 (第 22 条関係)

事業名	事業 主体	事業の内容	前年度 最終予算額 [千円]
			今年度 当初予算額 [千円]
<p>【前年度の実施 状況及び成果】 健康いばらき 21 推進事業 (総合普及啓 発)</p>	<p>県</p>	<p><実施状況> ○循環器疾患予防月間 (9 月) ・循環器疾患を主とした生活習慣病の予防に関する普及啓 発を、関係団体と連携し重点的に実施。 ○「元気アップいばらき！健康フェス 2024」の開催 ・R6.9.21 イオンモール水戸内原にて開催 ・健康づくりに関する団体・企業による展示・相談・試食 等を行うブース出展のほか、ステージイベント、スタン プラリーを実施。 イベント来場者数 延べ 4,810 人 計 16 団体、19 ブース出展、2 ステージイベント実施</p>	<p>1,425 の一部</p>

		<p>○「健康スポーツフェスティバル 2024in ひたちなか」へのブース出展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R6.10.6 国営ひたち海浜公園他で開催 ・啓発物の配布、「元気アップ！りいばらき」のダウンロード支援、減塩スープの試食などによる普及啓発の他、国民健康保険団体連合会による、骨量測定・握力測定を実施。 <p>当課ブース来場者 延べ 921 人</p> <p><成果> 来場者に対して健康づくりの普及啓発を実施することにより、県民の健康づくりへの意識醸成が図られた。 (保健医療部 健康推進課)</p>	
【今後の取組】 健康いばらき 21 推進事業 (総合普及啓発)	県	引き続き、関係団体や包括連携協定を結んでいる企業等と連携し、生活習慣病予防等の健康づくりに関する普及啓発に努める。	2,417 の一部
【前年度の実施状況及び成果】 健康増進事業	県	【再掲】 実施状況及び成果については、5 ページ参照。 (保健医療部 健康推進課)	114,768
【今後の取組】 健康増進事業	県	【再掲】 今後の取組については、6 ページ参照。	117,002
【前年度の実施状況及び成果】 健康いばらき 21 推進事業 (生活習慣病予防対策推進)	県	【再掲】 実施状況及び成果については、6 ページ参照。 (保健医療部 健康推進課)	5,885
【今後の取組】 健康いばらき 21 推進事業 (生活習慣病予防対策推進)	県	【再掲】 今後の取組については、6 ページ参照。	5,885
【前年度の実施状況及び成果】 子どもの体力向上支援事業	県	【再掲】 実施状況及び成果については、22 ページ参照。 (教育庁 学校教育部保健体育課)	4,357
【今後の取組】 子どもの体力向上支援事業	県	【再掲】 今後の取組については、24 ページ参照。	5,253

(14) 人生会議に関する普及啓発等（第 23 条関係）

事業名	事業主体	事業の内容	前年度 最終予算額 [千円]						
			今年度 当初予算額 [千円]						
【前年度の実施状況及び成果】 在宅医療推進事業	県	<p><実施状況></p> <p>人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）の普及啓発のため、以下の取組を実施。</p> <p>○各種媒体を活用し積極的な広報を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県ホームページ上に、人生会議の説明や進め方等の説明ページを作成・公開 ・県保健医療部公式 X へのポスト：8 件 ・県広報誌「ひばり」や茨城県国民健康保険団体連合会機関誌「茨城の国保」への記事掲載：3 回 ・LuckyFM「ラジオ県だより」放送：1 回 <p>○県民等を対象に、講演会等を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数：6 回 ・参加者数：延べ 387 人 <p>○県内の現状を把握するため、県民の認知度等調査（ネットリサーチ）を実施。</p> <p>人生会議の認知度</p> <table border="1"> <tr> <td>知っていた</td> <td>3.3%</td> </tr> <tr> <td>言葉は聞いたことがある</td> <td>7.9%</td> </tr> <tr> <td>知らなかった</td> <td>88.8%</td> </tr> </table> <p><成果></p> <p>様々な事業を実施し、県民の理解及び関心の深化を図ることができた。</p> <p>（保健医療部 健康推進課地域包括ケア推進室）</p>	知っていた	3.3%	言葉は聞いたことがある	7.9%	知らなかった	88.8%	35,500 の一部
知っていた	3.3%								
言葉は聞いたことがある	7.9%								
知らなかった	88.8%								
【今後の取組】 在宅医療推進事業	県	上記取組を継続して実施するとともに、資材（啓発チラシ）の作成や市町村の取組を支援し、更なる普及啓発に努める。	45,273 の一部						

(15) 健康づくりに関する教育の推進（第 24 条関係）

事業名	事業主体	事業の内容	前年度 最終予算額 [千円]
			今年度 当初予算額 [千円]
【前年度の実施状況及び成果】 健康増進事業	県	【再掲】 実施状況及び成果については、5 ページ参照。 （保健医療部 健康推進課）	114,768
【今後の取組】 健康増進事業	県	【再掲】 今後の取組については、6 ページ参照。	117,002

【前年度の実施状況及び成果】 健康いばらき21推進事業 (生活習慣病予防対策推進)	県	【再掲】 実施状況及び成果については、6ページ参照。 (保健医療部 健康推進課)	5,885
【今後の取組】 健康いばらき21推進事業 (生活習慣病予防対策推進)	県	【再掲】 今後の取組については、6ページ参照。	5,885
【前年度の実施状況及び成果】 令和6年度保育士等キャリアアップ研修 (食育・アレルギー対応)	県	【再掲】 実施状況及び成果については、18ページ参照。 (福祉部 子ども政策局子ども未来課)	51,103
【今後の取組】 令和7年度キャリアアップ研修の実施 (食育・アレルギー対応)	県	【再掲】 今後の取組については、18ページ参照。	50,652
【前年度の実施状況及び成果】 適切な休養等に関する教育	県	<p><実施状況></p> <p>○学校の授業等を通じた指導</p> <p>保健の授業や特別活動の時間を活用し、食事や運動など、健康な生活習慣を身に付けるための指導を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 : 規則正しい生活と健康の関係 ・中学校 : 休養及び睡眠と健康との関連性 ・高等学校 : 休養及び睡眠がもたらす心身への影響 <p><成果></p> <p>健康な生活習慣を身に付けるためには、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を送ることが必要であることについて、理解を深めることができた。</p> <p>(教育庁 学校教育部保健体育課)</p>	—
【今後の取組】 適切な休養等に関する教育	県	児童生徒が、健康の大切さを認識し、発達段階に応じて、健康によい生活習慣を身に付けることができるよう、健康づくりに関する教育の推進に努める。	—

(16) 人材の確保及び育成（第 25 条関係）

事業名	事業主体	事業の内容	前年度 最終予算額 [千円]																												
			今年度 当初予算額 [千円]																												
【前年度の実施状況及び成果】 地域保健基盤整備事業、健康づくり関係人材育成新事業	県	<p><実施状況></p> <p>○保健師等行政専門職を対象としたレベル別研修（経験年数等に応じた内容の研修）を計 12 回開催。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>レベル別 (対象者)</th> <th>目的</th> <th>設定回数 (回)</th> <th>参加者数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レベル 1-1 (新任期)</td> <td>個別保健指導</td> <td>1</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>レベル 1-2 (新任期)</td> <td>地域診断</td> <td>3</td> <td>131</td> </tr> <tr> <td>レベル 2 (中堅期Ⅰ)</td> <td>新人育成・事業立案・健康危機管理</td> <td>3</td> <td>132</td> </tr> <tr> <td>レベル 3 (中堅期Ⅱ)</td> <td>地域ケアシム構築</td> <td>3</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>レベル 4 (管理期)</td> <td>公衆衛生看護管理</td> <td>2</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>12</td> <td>450</td> </tr> </tbody> </table> <p>○健康づくり従事者研修（テーマ別） 7 回、計 392 人参加 ○食生活改善推進員研修 2 回、計 89 人参加 ○健康づくり推進に関する会議 2 回</p> <p><成果> 県・市町村の保健師等、食生活改善推進員の研修を開催し、地域保健・健康づくり関係職員等の資質の向上を図ることができた。 (保健医療部 健康推進課)</p>	レベル別 (対象者)	目的	設定回数 (回)	参加者数 (人)	レベル 1-1 (新任期)	個別保健指導	1	49	レベル 1-2 (新任期)	地域診断	3	131	レベル 2 (中堅期Ⅰ)	新人育成・事業立案・健康危機管理	3	132	レベル 3 (中堅期Ⅱ)	地域ケアシム構築	3	78	レベル 4 (管理期)	公衆衛生看護管理	2	60	計		12	450	16,240
レベル別 (対象者)	目的	設定回数 (回)	参加者数 (人)																												
レベル 1-1 (新任期)	個別保健指導	1	49																												
レベル 1-2 (新任期)	地域診断	3	131																												
レベル 2 (中堅期Ⅰ)	新人育成・事業立案・健康危機管理	3	132																												
レベル 3 (中堅期Ⅱ)	地域ケアシム構築	3	78																												
レベル 4 (管理期)	公衆衛生看護管理	2	60																												
計		12	450																												
【今後の取組】 地域保健基盤整備事業、健康づくり関係人材育成新事業	県	引き続き、地域保健を担う関係職員の継続的な人材育成、推進員の資質向上の支援を行う。	16,454																												
【前年度の実施状況及び成果】 栄養団体育成事業	県	【再掲】 実施状況及び成果については、16 ページ参照。 (保健医療部 健康推進課)	7,511																												
【今後の取組】 栄養団体育成事業	県	【再掲】 今後の取組については、16 ページ参照。	9,096																												

【前年度の実施状況及び成果】 食生活改善地区組織育成・強化事業	県	【再掲】 実施状況及び成果については、17 ページ参照。 (保健医療部 健康推進課)	2,097
【今後の取組】 食生活改善地区組織育成・強化事業	県	【再掲】 今後の取組については、17 ページ参照。	2,106
【前年度の実施状況及び成果】 8020・6424 推進事業、口腔保健支援センター事業	県	【再掲】 実施状況及び成果については、13 ページ参照。 (保健医療部 健康推進課)	8,898
【今後の取組】 8020・6424 推進事業、口腔保健支援センター事業	県	【再掲】 今後の取組については、15 ページ参照。	12,177
【前年度の実施状況及び成果】 シルバーリハビリ体操の推進	県	【再掲】 実施状況及び成果については、12 ページ参照。 (福祉部 長寿福祉課)	32,410
【今後の取組】 シルバーリハビリ体操の推進	県	【再掲】 今後の取組については、13 ページ参照。	40,458

4 その他

1 条例に関連する法令等の制定・改廃の動向 なし
2 国・県における施策の見直し等の動向 なし
3 条例の運用上の課題 なし
4 条例の改廃の必要性の有無 なし
5 その他 なし